



アオ君は、新しいマフラーまいてお出かけしたくてたまらない。

で、とある一月のすがすがと晴れた日曜の朝。



お出かけすんなら、連れていけ。



ヨシ、ポケットに入れ！

ブーン。（バイクに乗ってる音。）

着いたよ、着いたよ。



いい林だな、冬枯れ明るい。

エックス山緑地帯だよ。

春はこんなにきれいな緑だった→ [\(西恋ヶ窪緑地/エックス山\)](#)



冬枯れの林と哀愁のマフラー姿って、ぴったりマッチのハードボイルドだよな。



あ...



いい空だな。

木と一緒に吸い込まれそうだな。



切り株っていうのも、お弁当広げたりするのにいいもんだ。



枝おろしや薪割りで暖炉燃料補給するんだよな、ここ。



何となく、木に触れてると、懐かしいような気分になるんだな。

欧米じゃあ、魔除けにtouchwoodって言いながら木に触ったりするおまじないあるしな。木霊、とかご神木、とか、古今東西で、木には何しろなんか神様がいるんだろうな。



な、煙突くん。



あみねこの日々 アオ君森へ行く

<http://p.booklog.jp/book/46167>

著者 : yamamomon

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yamamomon/profile>

※あみねこの著作権は、ねこやまさんにあります。

この写真絵本は、ねこやまさんの許可を得てyamamomonが制作、発表しているものです。

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/46167>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/46167>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.